

1

新津事務局長の「耳より情報」

- 2月訪日外客数は過去最高、伸び率が非常に高く消費の数も質も高い/4月5月のエアラインの予約状況も順調
- 桜の開花前から桜シーズンのホリデー客が増えているため見過ごせない。/桜シーズンは年度末にかかり、イベントは手薄になりがちな時期だが、今年はJSFも桜シーズンに合わせて現在展開中。
- 令和5年度の補正予算で補助金事業を募集中/インバウンドに関する観光庁の補助金事業が多数でている。補助金を使って今までチャレンジできなかったことにチャレンジできる時。ぜひJSTO事務局に相談ください。

2

月例会セミナー「全国、JSTO各支部より インバウンド市場リレー報告」 登壇: JSTO各支部担当者



インバウンドセミナー&交流会
JSTO月例会

3/21 (木) 10:00~11:00

会員限定

全国、JSTO各支部より インバウンド市場リレー報告

登壇: JSTO各支部担当者

JSTO北海道支部: 入澤(株式会社JTB)

- ・マーケットがどんどん復活(延べ宿泊者数2019年比で77%)しているのを現場で感じる。
- ・北海道への訪日ゲスト数は2019年比で7割。国別では韓国(約30%)台湾(約20%)からの訪日客が大部分を占める。ダイレクトフライトがあるかどうかが大きな要因
- ・2月に雪まつりが4年ぶりの開催、8日間で238万人動員。インバウンド全盛期くらいの賑わいを感じた。

JSTO東北支部: 小野(仙台ターミナルビル株式会社)

- ・訪日ゲストは台湾や香港、タイが中心 ※全体の約80%
- ・東北への誘客に向け積極的なプロモーションを実施
- ・台湾、タイへのPRイベントを開催、台湾ではクーポン配布による集客施策を展開(回収率約16%)。

JSTO中部支部: JSTO代理

- ・訪日ゲストは高山や白川郷は戻ってきているが名古屋地区は素通りの傾向。北陸方面は金沢を中心に戻りつつある。北陸新幹線開通でインバウンド回復に期待。
- ・2025年の大阪万博での来場者を、近隣である名古屋方面に誘致したい。

JSTO関西支部: 福村

(株式会社JTBコミュニケーションデザイン)

- ・関西国際空港の外国人入国者数、2019年に近づきつつあり2025年の万博時には完全に戻るのではないかと。
- ・大阪のテーマパークをみると、2019年比でみると大体越えてきているが道頓堀あたりは、ピーク時ほどではない感覚。大阪での訪問場所はコロナ前と変わらず。
- ・2025年の大阪万博は想定来場者数約350万人、来場者数に対応するための準備が今年から必要。/大阪・京都に集中する訪日客をどう地方に分散して滞在日数を増やしてもらうかが課題。

JSTO九州支部 深澤(株式会社JTB)

- ・九州への外国人入国者数は順調に回復してきているが、中国からの便数がまだ86%
- ・国別の訪日ゲストは、ダントツに韓国からが全体の75%、台湾10.1%欧米からは関西、広島まではきているが、九州まではなかなか来ていない。
- ・地方のインターネット環境が整備されていない、食事の対応ができるレストランが少ない(ベジタリアン、ムスリム対応)、熊本はITバブルで観光関連に今まで以上に人材が集まらないことなどが課題。

JSTO沖縄支部 富永(株式会社JTB沖縄)

- ・去年の3月から外国船クルーズが戻ってきて訪日ゲストが急激に回復。
- ・国別には台湾、香港、シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、ハワイ、南米から、特に台湾からが非常に多く訪日ゲストの60%くらいを占めている。韓国からはほとんどきていない。
- ・FIT化、価格の二極化。富裕層が求めているもの(沖縄の歴史文化に触れられる。沖縄でしか体験できないこと)を明確にする必要。

3

JSTOからのお知らせ

- (1) JapanShoppingFestivalが3/15からスタート
- (2) スーパー・小売店ですぐに使えるインバウンド・デジタルコンテンツを無料配布中

<https://jsto.or.jp/news/info-20240401/>

(3) JSTO定例スケジュール

月例会 毎月第3木曜10時~11時

- ①JSTOメルマガ・毎月1日発行
- ②おもてなし事業者メルマガ・毎月25日発行
- ③免税メルマガ・毎月5日発行

4

次回の月例会開催予告

申込・詳細は下記URLから

<https://jsto.or.jp/news/info-240418/>



インバウンドセミナー&交流会

JSTO月例会

4/18 (木) 10:00~11:00

会員限定

2024年度 JSTO活動方針のご説明

登壇

JSTO事務局長

新津研一

